

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104 - 76	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅢ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
231 いいずな	CⅢ 721	New Rays English Communication Ⅲ		

1. 編修の基本方針

この教科書を通して、多文化共生時代を生きるために求められる生徒一人ひとりの「たくましさ」と「しなやかさ」を育て、将来に役立ててもらうことを編修の基本方針としました。

たくましさ：自分で考え、判断し、行動する力（自己表現力）

しなやかさ：異なるものと向き合い、協働を通してさまざまな問題を乗り越える力（対話力）

本教科書では、①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力」③「主体的かつ対話的に学習に取り組む態度」の3つの観点を通して、「たくましさ」と「しなやかさ」という2つの資質を育てることができるようになりました。

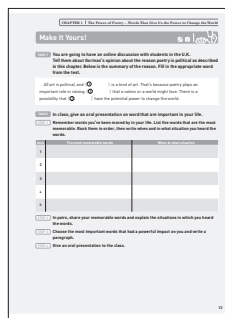
①「知識・技能」の観点（第1号）

- ・英語表現するための語彙力、文法力、慣用表現力を育てる。
- ・英語の言語資源を使って、さまざまなタスクを行う力を育てる。
- ・英語でのアウトプット（スピーキングとライティング）とインプット（リスニングとリーディング）のためのスキルを鍛える。

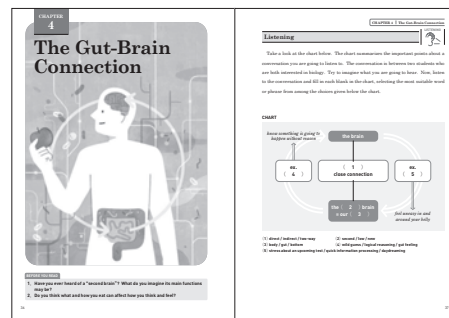
⇒英文を読むだけで終わらせるのではなく、本文で得た情報を使ってさまざまな表現活動を行います。また、リスニング課（4課、8課）では、リスニングとリーディングの2つの領域から得る情報を組み合わせて知識を深めます。



Check Your Comprehension



Make It Yours!

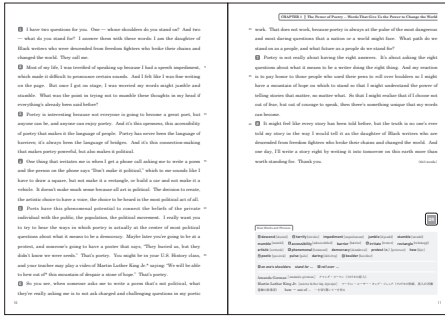


CHAPTER 4 リスニングパート

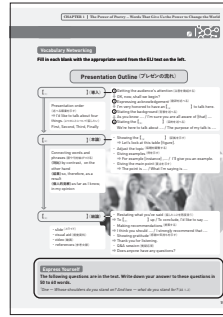
②「思考力・判断力・表現力」の観点（第4号、第5号）

- ・問題を把握し、「何ができ」「何をすべきか」を構想する状況把握力を育てる。
- ・物事を論理的に思考する力を育てる。
- ・現象を分析し、傾向性や因果関係などを見抜く分析力を育てる。
- ・大きな問題の中から本質的なリサーチ・クエスチョンを引き出す問題発見力を育てる。
- ・英語での事物描写、比較記述、物語展開、会話管理などを通して、自己表現力・対話力を育てる。

⇒全体を「どう生きるか」「文化と科学」「過去と未来」という3つのUNITに分け、その中で多様な話題を取り扱うようにしました。また、Express Yourselfでは、本文の一節に対する自分の意見を書きます。



CHAPTER 1 本文ページ

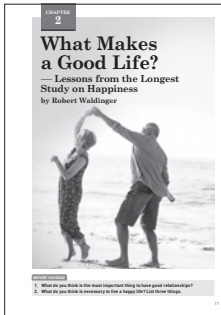


Express Yourself

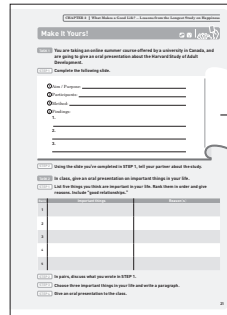
③ 「主体的かつ対話的に学習に取り組む態度」の観点（第2号，第3号）

- ・「なすべきこと」について行動計画を立て、それを実行する力を育てる。
- ・他者との協働を通して新たな可能性を創り出す共創力を育てる。

→CHAPTER 導入ページにある BEFORE YOU READ の質問を活用することで、その課でやるべきことをペアやグループで考えることができます。また、Make It Yours! では他者と協働して行う活動を多く取り入れました。



CHAPTER 導入ページ



Make It Yours!

Make It Yours! の活動例

- ・スピーチ
- ・プレゼンテーション
- ・ディスカッション
- ・ディベート

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
UNIT 1 A Way of Life (生き方について考える)		
CHAPTER 1 The Power of Poetry — Words That Give Us the Power to Change the World アマンダ・ゴーマンさんがなぜ詩を書くのか、詩を通して何を表現しているのかを語っているスピーチを読む。	詩がこれまでにどのような影響を与えてきたのか、これからどのようなものを書きたいかという筆者のメッセージを読むことで、表現することの大切さを考えるきっかけとした。(第2号)	pp.9-16
CHAPTER 2 What Makes a Good Life? — Lessons from the Longest Study on Happiness 「よい人生とはどういう人生か」という普遍的テーマについての研究結果を紹介するスピーチを読む。	よりよい人生を送るには他者とのよい関係が重要であるという研究結果を知ることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養う。(第3号)	pp.17-24
CHAPTER 3 Mindset — Changing the Way You Think to Fulfill Your Potential 出来事をどう意味づけするかによって生き方が変わるというメッセージを読む。	困難なときこそ、自分を成長させることができるチャンスであるという筆者のメッセージを読み、困難に立ち向かう態度を養う。(第1号)	pp.25-31

CHAPTER 4 The Gut-Brain Connection	腸と脳の関係が、私たちの健康に重要な影響を及ぼしているという事実を知り、健やかな身体と自他を大切にすることを養う。(第1号)	pp.36-45
私たちの体内の意外な結びつきについて、科学的な観点で書いた文章を聞いたり読んだりして情報を集める。		
UNIT 2 Culture and Science (文化と科学について考える)		
CHAPTER 5 Wa "Holy Harmony"	筆者の「和」の理解に賛同するかどうかを考えながら読むことで、多様な考えがあることを理解し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。(第5号)	pp.47-56
外国人の視点から日本文化における「和」について考察した文章を読む。		
CHAPTER 6 The Scientific Method — Seeking the Truth	科学者たちが残してきた功績を読むことで、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う。(第3号)	pp.57-65
科学的な研究方法の基盤となったガリレオの考え方の意義についての論述などを読む。		
CHAPTER 7 How Associative Memory Works: the Marvels of Priming	言動などが無意識のうちに私たちの行動に影響を与えるという実験結果を読むことで、真理を求める態度を養う。(第1号)	pp.71-79
実験結果を紹介した文章を読み、プライミング効果とは何かを理解する。		
CHAPTER 8 What You Eat May Affect Your Environment	肉の消費によって環境にどのような影響を与えるかという研究結果を知り、食と環境の関係について考えるきっかけとする。(第4号)	pp.80-89
食文化と地球環境の関係についての研究結果を聞いたり読んだりして情報を集める。		
UNIT 3 The Past and the Future (現在と過去・未来のつながりについて考える)		
CHAPTER 9 Mass Extinction: Why Are They Gone?	動植物が絶滅することで生態系にどのような影響を与えるかを知ることで、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号)	pp.91-99
絶滅危惧種の問題を取り上げた記事を読み、生物が絶滅するとはどういうことかを考える。		
CHAPTER 10 The Soul of Meiji	明治初期の日本のことをつづったモースの文章とスケッチを知ることにより、明治初頭の日本について思いをはせ、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養う。(第5号)	pp.105-118
明治時代の日本に滞在したモースの日記を読み、明治初頭の日本がモースにどう映ったかを知る。		
CHAPTER 11 A Forest on Caffeine? — How Coffee Can Help Forests Grow Faster	これまで廃棄されていたコーヒーパルプによって、森林が再生されるという取り組みを知ることで、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号)	pp.119-127
コーヒーが森林再生のカギとなるかもしれないという取り組みを読み、その仕組みを読み解く。		
CHAPTER 12 Fahrenheit 451	本を所持することが禁止された世界を想像しながら物語を読むことで、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培う。(第1号)	pp.128-145
1953年に書かれたSF小説を読み、物語の世界観を味わう。		

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

① 高校での英語学習のサポート

- 正課に入る前に、「効果的な学びを促すためのアドバイス」の解説を入れました。この教科書を使う上で大切な語彙力強化、音読、リアクションの方法を紹介しています。
- 高校で学習した文構造・文法事項を定着させるために、課末の Focused Sentences で注目すべき文を取り上げました。
- 課末の Vocabulary Development では、EIJ Text と Vocabulary Networking で語彙の拡充を図ります。また、課の間の「接頭辞 (prefix)」では、タスクの問題を解くことで未知語を推測する力を養います。

② 主体的な学びのための工夫

- 新語・イディオムや本文の音声教科書の二次元コードを通して無償で利用できるようにしました。教科書の音声をいつでも聞くことができます。
- 題材の関連動画も教科書の二次元コードを通して見るすることができます。題材で取り上げた人物の生の声などを見ることで、本文をより深く理解することができます。
- 題材の背景知識や発展情報をコラムにまとめました。学習者のさらに知りたい、という欲求に答えます。
- 「多義的な基本名詞」のコーナーでは、意味的な広がりのある基本語を取り上げています。

③ 題材の選定

- 性別や人種、特定の世界観や宗教に偏らないように努め、広いものの見方ができるように配慮しました。
- 題材の内容は、生き方、思考、健康、日本文化、科学、記憶、食・環境、小説など、さまざまな分野から選び、多様な考え方に触れることができるようにしました。
- 題材の形式は、スピーチ、説明文、紀行文、物語など、さまざまな形式を取り入れました。また、リスニングとリーディングを組み合わせる知識を深める課 (CHAPTER 4, 8) を設けました。

④ 環境への配慮

- 管理された森林資源を使用するなど、再生可能で環境にやさしい原料や製法で作られた用紙を使用しています。
- 植物由来の油、およびそれらを主体とした廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ植物油インキを使用しています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時間数表)

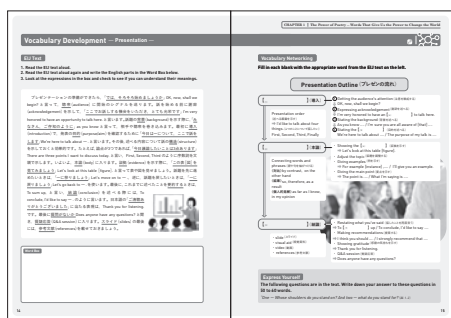
受理番号	学校	教科	種目	学年
104 - 76	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅢ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
231 いいずな	CIII 721	New Rays English Communication III		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 高等学校外国語科の目標を実現するための工夫

① 英語の音声や語彙, 表現, 文法の理解を深め, 実際のコミュニケーションにおいて活用するために

● 各課末に **Vocabulary Development** のコーナーを設けました。EIJ (English In Japanese) と英単語ネットワークを活用して, 語彙力, 表現力を高めることができます。



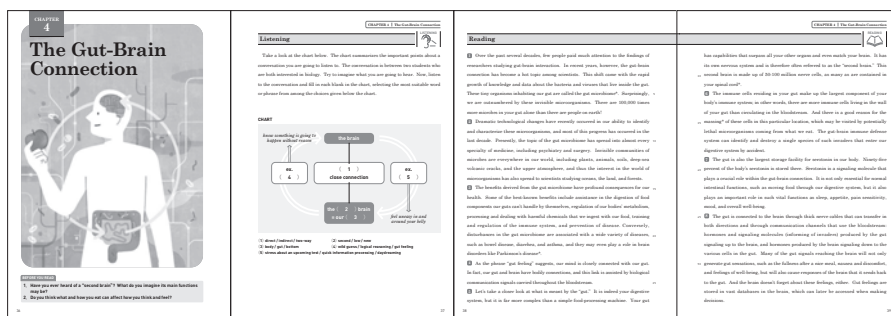
Vocabulary Development

● 各課末に **Focused Sentences** のコーナーを設けました。英語コミュニケーションⅠ・Ⅱで学んだ表現や文法を復習し, 活用するために, 本文中の特に注目したい文を取り上げました。



Focused Sentences

● CHAPTER 4, 8 では, リーディングとリスニングの2つの領域から情報を集め, それを課末の表現活動 (スピーキング, ライティング) で用いるという **領域統合型の言語活動** を取り入れました。



Listening 活動

Reading 活動

② 実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用するために

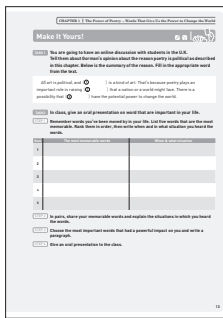
- 実際のコミュニケーションで使われているさまざまな形式・ジャンルの英文を取り入れました。

CONTENTS			
1 Unit 1	1	The Power of Poetry	1
	2	What Makes a Good Life?	11
	3	Blindspot	21
	4	The Eco-Friendly Connection	31
2 Unit 2	1	Mr. Why? Summary	41
	2	The No-Grills-Method	51
	3	How Associative Memory Works: The Mesechs of Printing	61
	4	What You Don't Know About Your Environment	71
3 Unit 3	1	Mass Extinction: Why Are They Gone?	81
	2	The Sound of Music	91
	3	A Forest on Coffee?	101
	4	Fubushiki 011	111

目次

形式の例: スピーチ, 説明文, 紀行文, 物語文
 ジャンルの例: 詩, 生き方, 思考, 健康, 日本文化, 科学, 記憶, 食・環境, 生物, 歴史, 小説

- 目的や場面、状況に応じて適切に活用するために、各課末に **Make It Yours!** のコーナーを設けました。本文で学んだことを使って、ペアやグループでスピーチ、プレゼンテーション、ディスカッションなど、さまざまな活動を行います。



Make It Yours!

- アイディアの生成から表現までのプロセスでは、まとまった内容を表現するための一連の流れと注意点をまとめました。

アイディアの生成から表現までのプロセス

このプロセスは、アイディアを生成し、それを表現するための一連の流れと注意点をまとめたものです。

1. アイディアの生成 (Idea Generation)

2. アイディアの整理 (Idea Organization)

3. アイディアの表現 (Idea Expression)

4. アイディアの共有 (Idea Sharing)

5. アイディアの発展 (Idea Development)

アイディアの生成から表現までのプロセス

1. アイディアの生成 (Idea Generation)

2. アイディアの整理 (Idea Organization)

3. アイディアの表現 (Idea Expression)

4. アイディアの共有 (Idea Sharing)

5. アイディアの発展 (Idea Development)

アイディアの生成から表現までのプロセス

1. アイディアの生成 (Idea Generation)

2. アイディアの整理 (Idea Organization)

3. アイディアの表現 (Idea Expression)

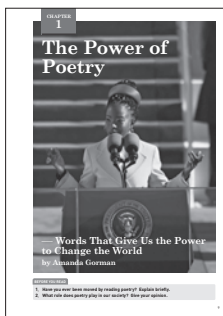
4. アイディアの共有 (Idea Sharing)

5. アイディアの発展 (Idea Development)

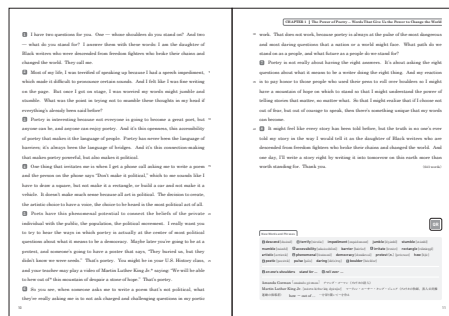
アイディアの生成から表現までのプロセス

③ 主体的、自立的に英語を用いてコミュニケーションを図るために

- 本課に入る前に **CHAPTER** 扉の質問についてペアやグループで話し合うことで、本文の内容を推測し、課題などを考えながら読み進めることができます。また、本文をパートに分ける支援をやめ、通読するスタイルにしました。

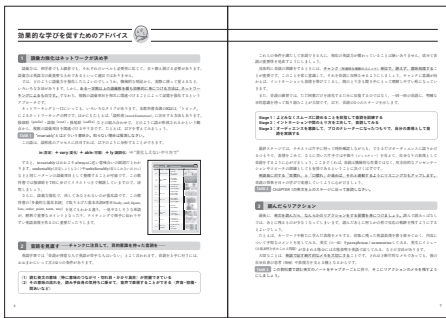


CHAPTER 扉



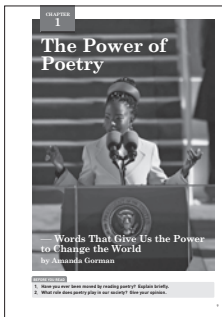
本文ページ

●本課に入る前に効果的な学びを促すためのアドバイスのコーナーを設けました。この教科書を使う上で重要な「語彙力強化」「音読」「読んだらリアクション」の3つについて、解説しています。

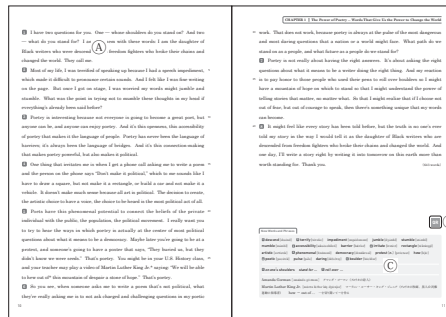


効果的な学びを促すためのアドバイス

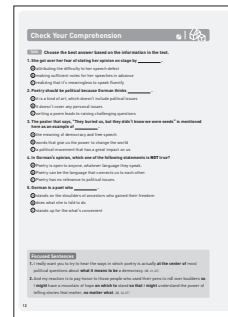
(2) 各 CHAPTER の構成



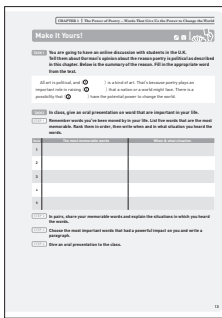
①CHAPTER 導入ページ



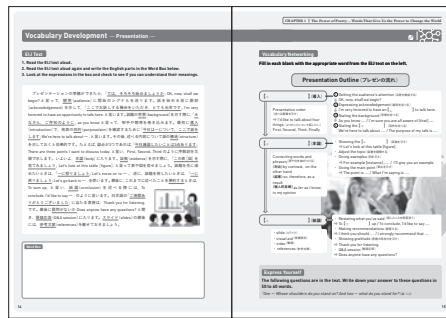
②本文ページ



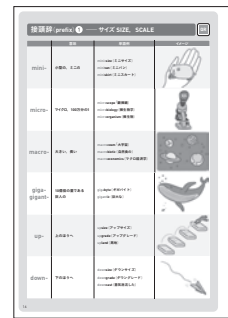
③Check Your Comprehension (内容理解)



④Make It Yours!(表現活動)



⑤Vocabulary Development (語彙)



⑥接頭辞(prefix)

① CHAPTER 導入ページ	本文に入る前に質問に答えたり、英文を読むことで、内容を推測します。	
② 本文ページ	Ⓐ 本文	本文をパート分けせず、一気に読むスタイルにしました。語句解説で扱っている語には*(アスタリスク)をつけました。
	Ⓑ 二次元コード Ⓒ 新語, イディオム, 語句解説	本文と新語・イディオムの音声を取録しました。一部、関連動画も収録しています。 新語, イディオム, 語句解説の順に掲載しました。新語, イディオムには段落番号をつけました。また、品詞によって発音が異なる語には(v)などの品詞を示しました。
③ Check Your Comprehension (内容理解)	TASKの問題で、本文の内容が理解できているかどうかを確認します。また、Focused Sentencesでは、本文中の注意すべき表現を取り上げました。	
④ Make It Yours! (表現活動)	本文で学んだことを使って、スピーチ、プレゼンテーションなど、さまざまな表現活動を行います。	
⑤ Vocabulary Development (語彙)	EIJ Text: 本文に関連した語句を日本語の文章に英語表現を加えていくやり方で定着させます。 Vocabulary Networking: 本文に出てきた語句とその関連表現をネットワークで整理しました。 Express Yourself: 本文の一節や本文に関する質問について、50~100語程度で自分の意見を書きます。	
⑥ 接頭辞(prefix)	重要な接頭辞を例文とイラスト付きで取り上げ、定着のためのタスクを設けました。	

2. 対照表, 配当時間数表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容										該当箇所	配当時間		
UNIT	教材名	(1)	(2)	(3)											
				①言語活動					②言語の働き						
				ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア 使用場面	イ 働き				
1	CHAPTER 1 The Power of Poetry —Words That Give Us the Power to Change the World	ア, イ, ウ, エ	ア, イ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ウ) スピーチ (ウ) 詩	(ウ) 例を示す (オ) 注意をひく	pp.9-16	7	
	CHAPTER 2 What Makes a Good Life? —Lessons from the Longest Study on Happiness	ア, イ, ウ, エ	イ, ウ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 日常 (ウ) スピーチ	(エ) 提示する (オ) 質問する	pp.17-24	7		
	CHAPTER 3 Mindset —Changing the Way You Think to Fulfill Your Potential	ア, イ, ウ, エ	ウ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 学校 (イ) 本	(ア) 言いかえる (オ) 助言する	pp.25-31	7		
	CHAPTER 4 The Gut-Brain Connection	ア, イ, ウ, エ	ア, イ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 学校 (イ) 本	(ア) 聞き直す (ウ) 例を示す	pp.36-45	8		
2	CHAPTER 5 Wa “Holy Harmony”	ア, イ, ウ, エ	イ, ウ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 日常 (イ) 本	(ア) 例を示す (イ) 仮定する	pp.47-56	8		
	CHAPTER 6 The Scientific Method —Seeking the Truth	ア, イ, ウ, エ	イ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ) 本 (ウ) 伝記	(ウ) 描写する (エ) 推論する	pp.57-65	8		
	CHAPTER 7 How Associative Memory Works: the Marvels of Priming	ア, イ, ウ, エ	ア, イ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 日常 (イ) 本	(ウ) 報告する (ウ) 例を示す	pp.71-79	8		
	CHAPTER 8 What You Eat May Affect Your Environment	ア, イ, ウ, エ	イ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 日常 (イ) 本	(ウ) 紹介する (オ) 誘う	pp.80-89	9		
3	CHAPTER 9 Mass Extinction: Why Are They Gone?	ア, イ, ウ, エ	イ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ア) 研究 (イ) 雑誌	(ウ) 引用する (ウ) 例を示す	pp.91-99	9		
	CHAPTER 10 The Soul of Meiji	ア, イ, ウ, エ	イ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア)	(ア) 日常 (イ) 紀行文	(イ) 驚く (ウ) 例を示す	pp.105-118	10		
	CHAPTER 11 A Forest on Caffeine? —How Coffee Can Help Forests Grow Faster	ア, イ, ウ, エ	ア, イ	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ア) 地域 (イ) 雑誌	(ア) 情報を加える (オ) 注意をひく	pp.119-127	9		
	CHAPTER 12 Fahrenheit 451	ア, イ, ウ, エ	ア	ア, イ, ウ, エ, オ, カ	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(ア) 会話 (イ) 小説	(ア) 聞き直す (オ) 質問する	pp.128-145	10		
											計	100			